

学校教育目標

- ☆学ぶ力のある子 【知育】
- ☆心の豊かな子 【徳育】
- ☆たくましく生きる子 【体育】

あけとの子

活かに満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

令和4年夏休み月号

発行 令和4年7月20日



夏休みは自分の力で自分を伸ばす大切な時間

深谷市立明戸小学校長 強瀬 雪乃

創校150周年！深谷市立明戸小学校
「誇り高さ 我が母校」



7月21日から長い夏休みに入ります。

期間が長く、毎日通う学校の勉強がない夏休みは、子供たちが自分の力で自分を伸ばす大切な時間です。学校で勉強したつもりでいたけれど聞き流していなかっただろうか、勉強したことは本当に身に付けているのだろうかを確かめる時間です。

いつもはつい目先のことばかりにとらわれがちですが、子供たちの将来のことを考え、身に付けさせたいことを確かめ、できるようにするための時間にしてほしいです。

最近さまざまなメディアを見たり聞いたりする中、日本に限らず豊かな社会に共通する困った現象や状況に目が留まります。

その一つ、汗を流さない、仕事に励まない若者が増え、進学しても就職しても、ちょっと気に入らないことがあるとすぐに辞めてしまう人が増えるという状況が多いということです。また、何かがうまくいかないと、それを他人のせいにしたり文句だけは相手に言ったりする人が増えるということも困った状況です。

自分にとって都合の悪いことを、人のせいにしない・・・



親が悪いからとか、相手の言い方が悪いから言うことを聞かないという態度や考え方は、改善や成長の機会を逃し結果的に自分を駄目にしてしまいます。

自分に都合よい理由はいくらでも挙げられます。でも、自分がよくなる努力は自分でしなければならぬことを、本当は子供も子供なりに知っていると思います。

親が悪いからだとか、誰がこうだからと誤魔化そうとするとところから抜け出せない、前にすすめませんね。

小さなことから、自分の責任で、自分を高める努力をさせることが必要なのではないでしょうか。

自分が自分自身をどう見ているかということ、まず考えさせ、自分が本来持っているものも努力しないと伸びないし、それを確かめることもできないということを教えていきたいものです。

どんなに幼くても、自分を育てるのは自分自身だということ、その子なりにとらえさせることこそ重要ではないかと私は考えます。

夏休みです・・・時間をかけて子どもとゆっくり話をしてみませんか。



